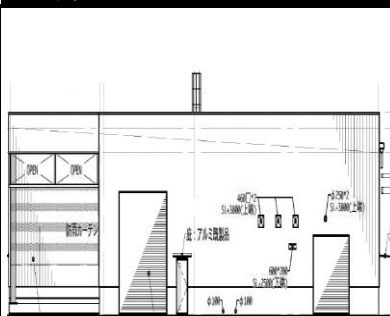


■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	オルガノ開発センター 新実験棟 建設工事(E様)	階数	地上1F
建設地	神奈川県相模原市南区西大沼4丁目3095-1、2639-2、3095-3、3096-1・3、3100-1・4・5、3694-1、3697、3697-2・3、3698-2・6・7、3700-1、3709-1・2・3、3720-1計20筆	構造	S造
用途地域	地域指定なし、防火地域 指定なし	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年11月05日
敷地面積	3,458 m ²	作成者	株式会社樹一級建築士事務所
建築面積	2,045 m ²	確認日	2020年11月11日
延床面積	2,045 m ²	確認者	株式会社樹一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

排出量: 46 kg-CO₂/年・m²

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3.8
LR2 資源・マテリアル: 3.0
LR3 敷地外環境: 3.1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	2.5% ≤ [昼光率]。	Q2 サービス性能 天井高2.7m以上。 給水HIVP(VP相当)(B)、排水VP(B)、給湯架橋ポリエチレン管(C)、Eは不使用。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	[BEI][BEIm] = 0.67。	LR2 資源・マテリアル 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。
LR3 敷地外環境	LCCO ₂ 排出率84%。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率84%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される